

平成28年7月1日

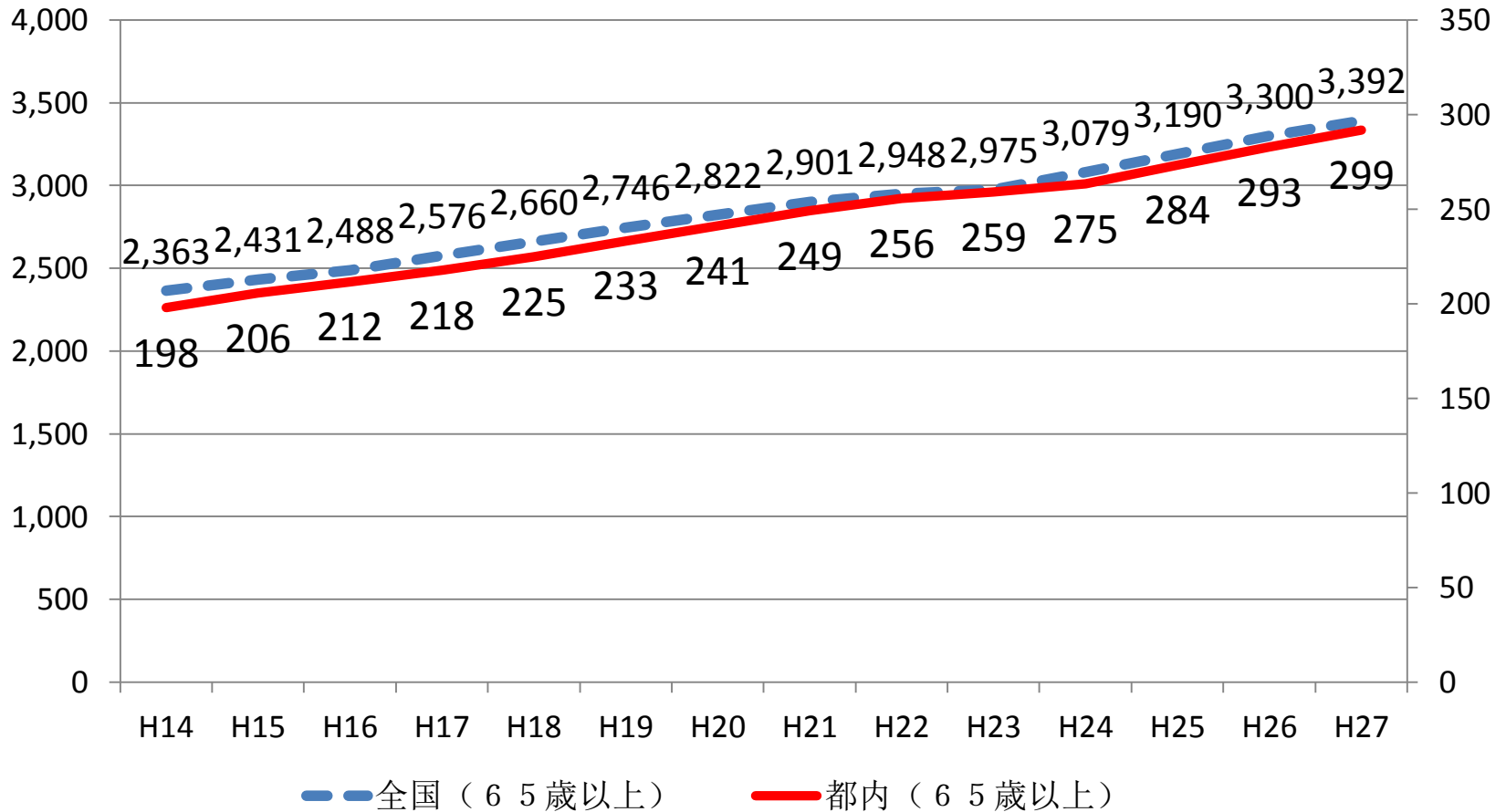
# 高齢者の犯罪について

万引きに関する有識者研究会

# 65歳以上人口の推移(国・都)

単位:万人(全国)

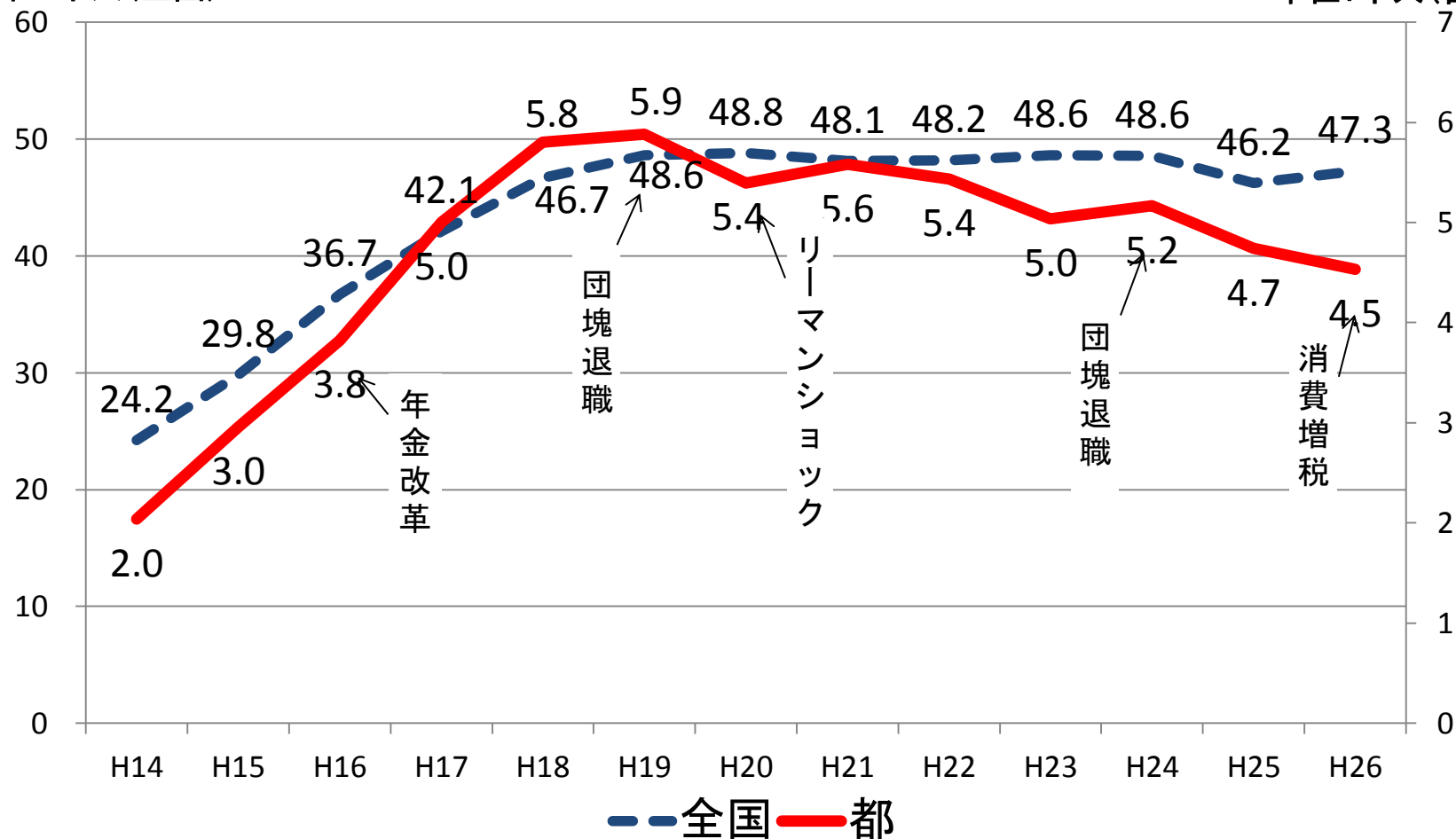
単位:万人(都)



# 65歳以上刑法犯検挙人員の推移(国・都)

単位:千人(全国)

単位:千人(都内)



# 増加の動向

・「高齢者人口の増加の勢いを大きく上回る勢いで高齢犯罪者も増加している傾向に照らせば、今後も我が国の高齢者人口の急速な増加に従って、**高齢犯罪者はなお一層の増加を続ける可能性がある**」

(平成20年「犯罪白書」)

・「高齢者の人口増加以上に、高齢者の犯罪が増加しており、その増加率は他のどの年齢層よりも高くなっている」(平成25年「**高齢犯罪者の特性と犯罪要因に関する調査**」警察庁・警察政策研究センター及び太田達也慶應義塾大学教授共同研究。以下「**警察政策研究センター・太田達也**」)

<参考> 警察政策研究センター・太田達也

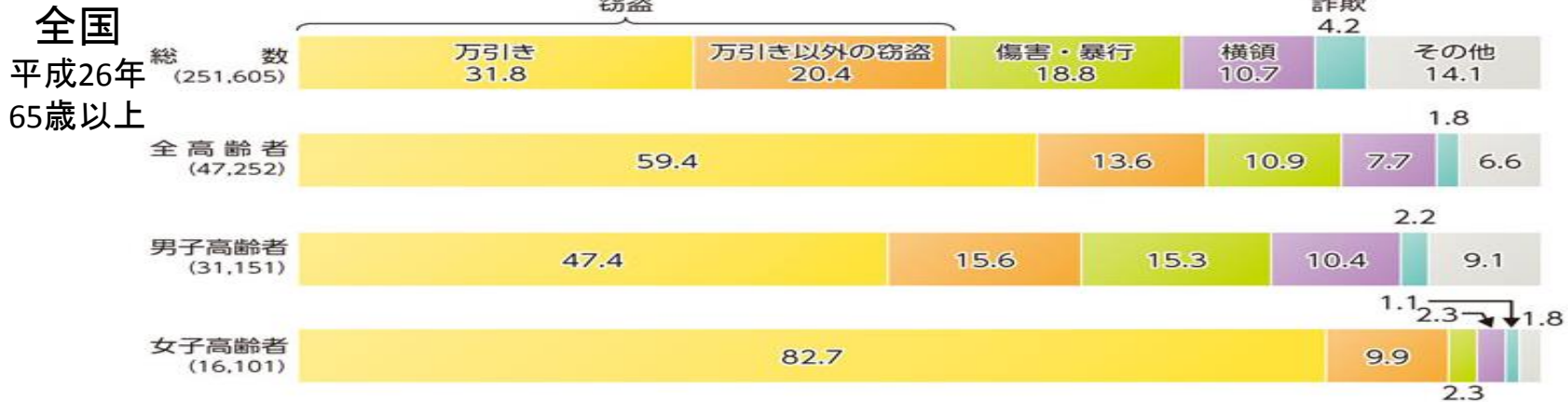
第一調査 平成17年度 高齢犯罪者の特性に関する調査

第二調査 平成18年度 高齢者の再犯状況に関する調査

第三調査 平成19年度 全国の警察署において検挙された高齢者についての実態調査

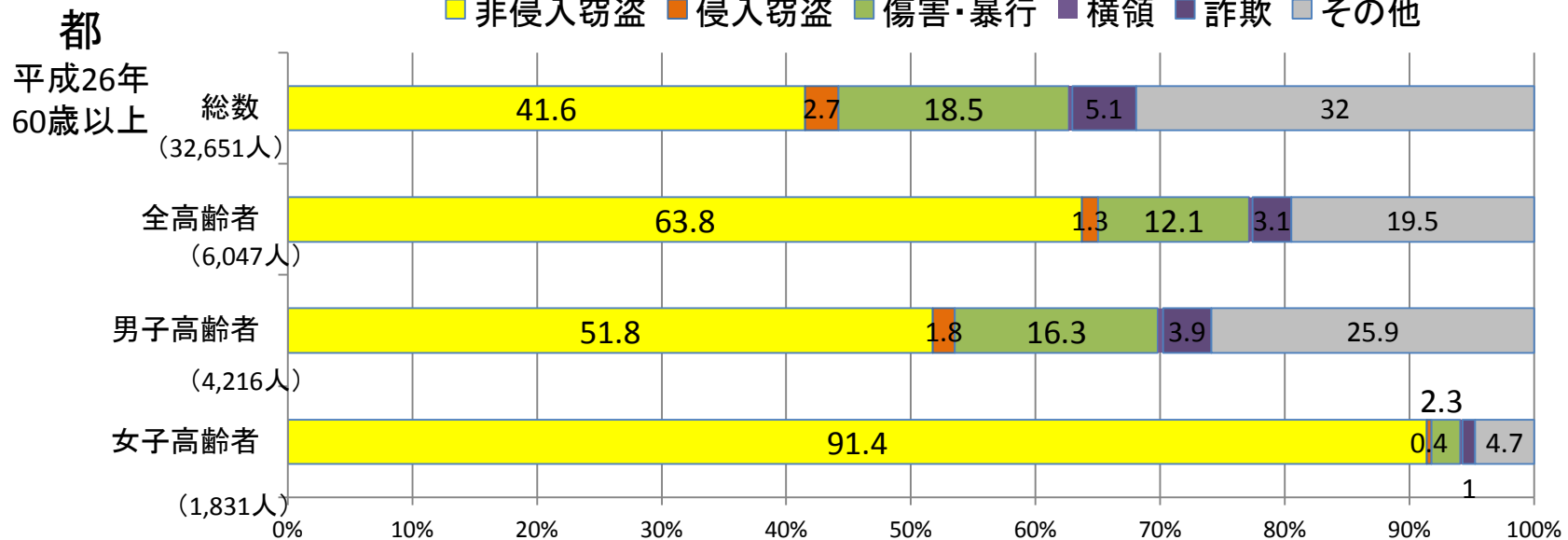
# 高齢検挙者の罪名別構成比(国・都)

(平成26年)



- 注 1 警察庁の統計及び警察庁交通局の資料による。  
 2 犯行時の年齢による。  
 3 「横領」は、遺失物等横領を含む。  
 4 ( ) 内は、実人員である。

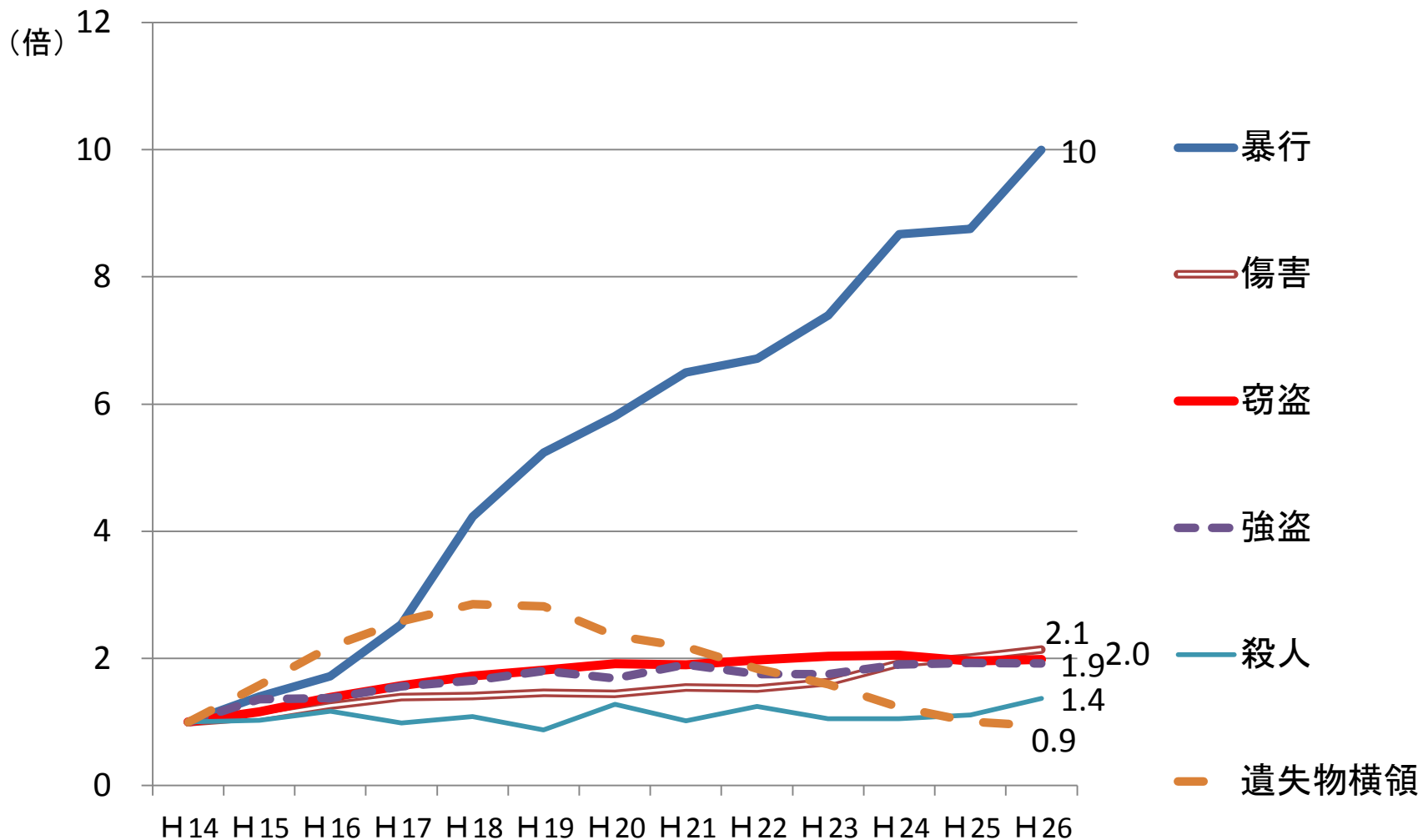
平成27年「犯罪白書」



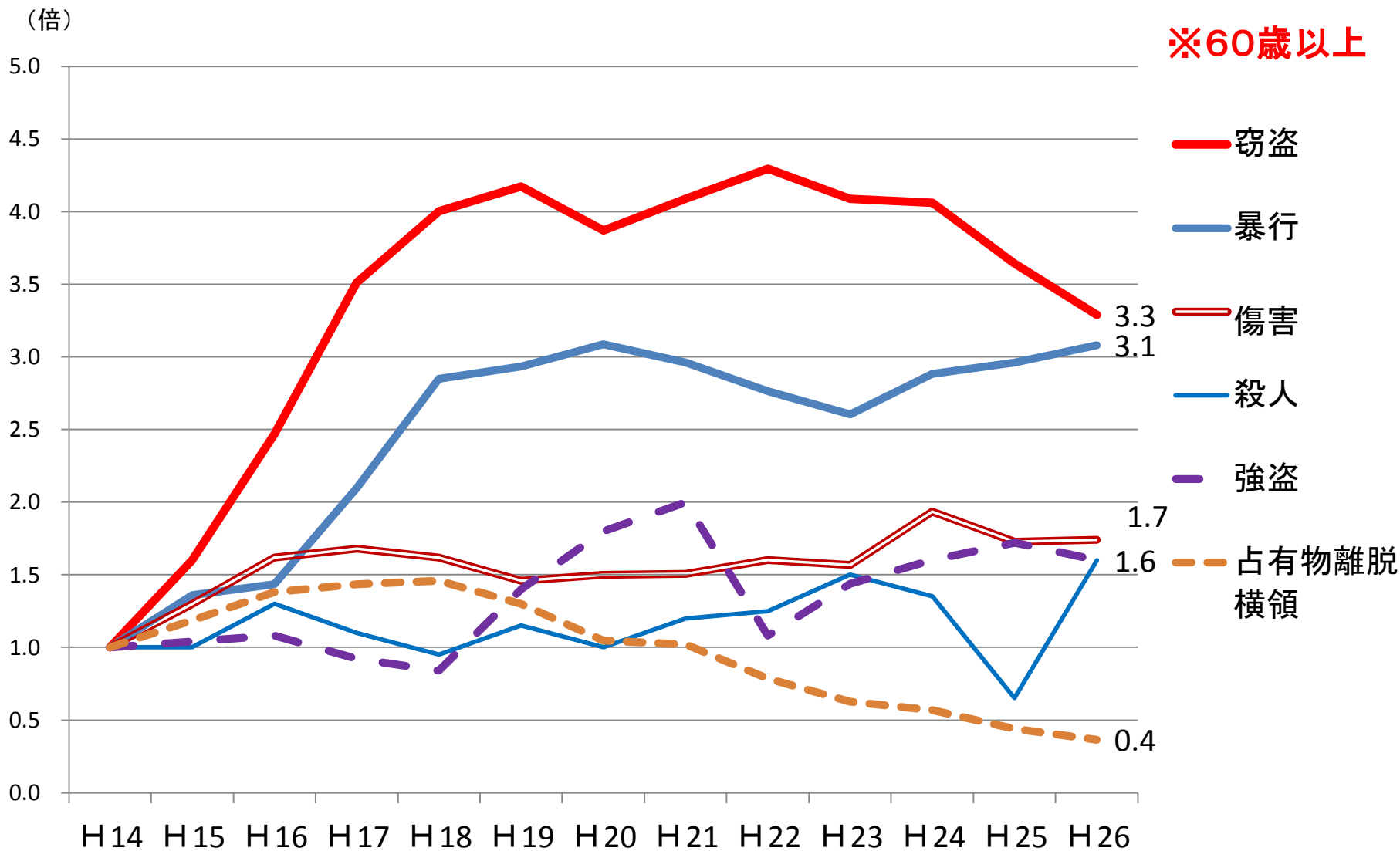
「警視庁の統計」平成26年版より作成

# 全国高齢検挙人員の罪名別推移(H14年比)

※65歳以上

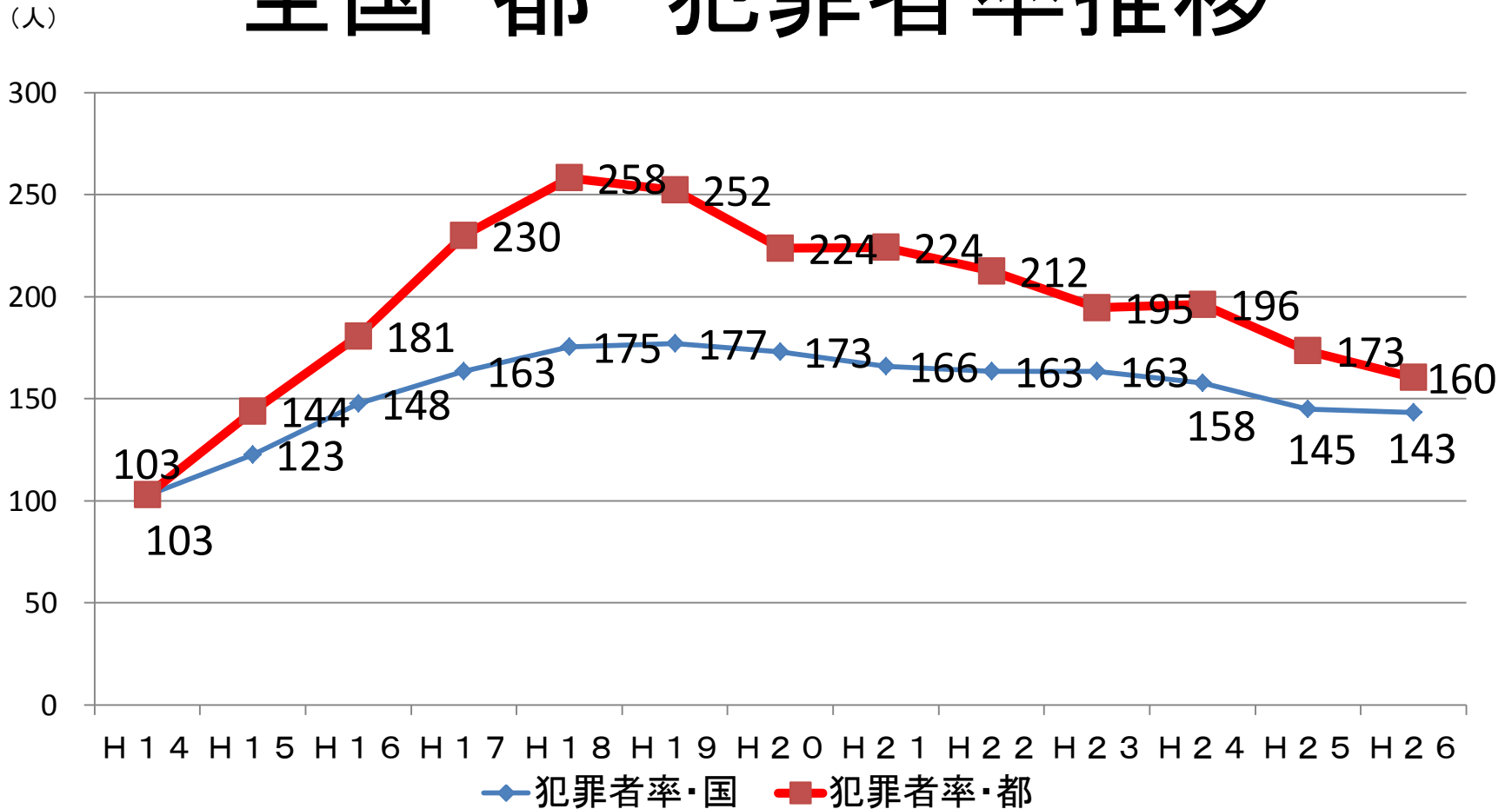


# 都内高齢検挙人員の罪名別推移(H14年比)



「警視庁の統計」より作成

# 全国・都 犯罪者率推移



65歳以上人口10万人当たりの刑法犯検挙者率

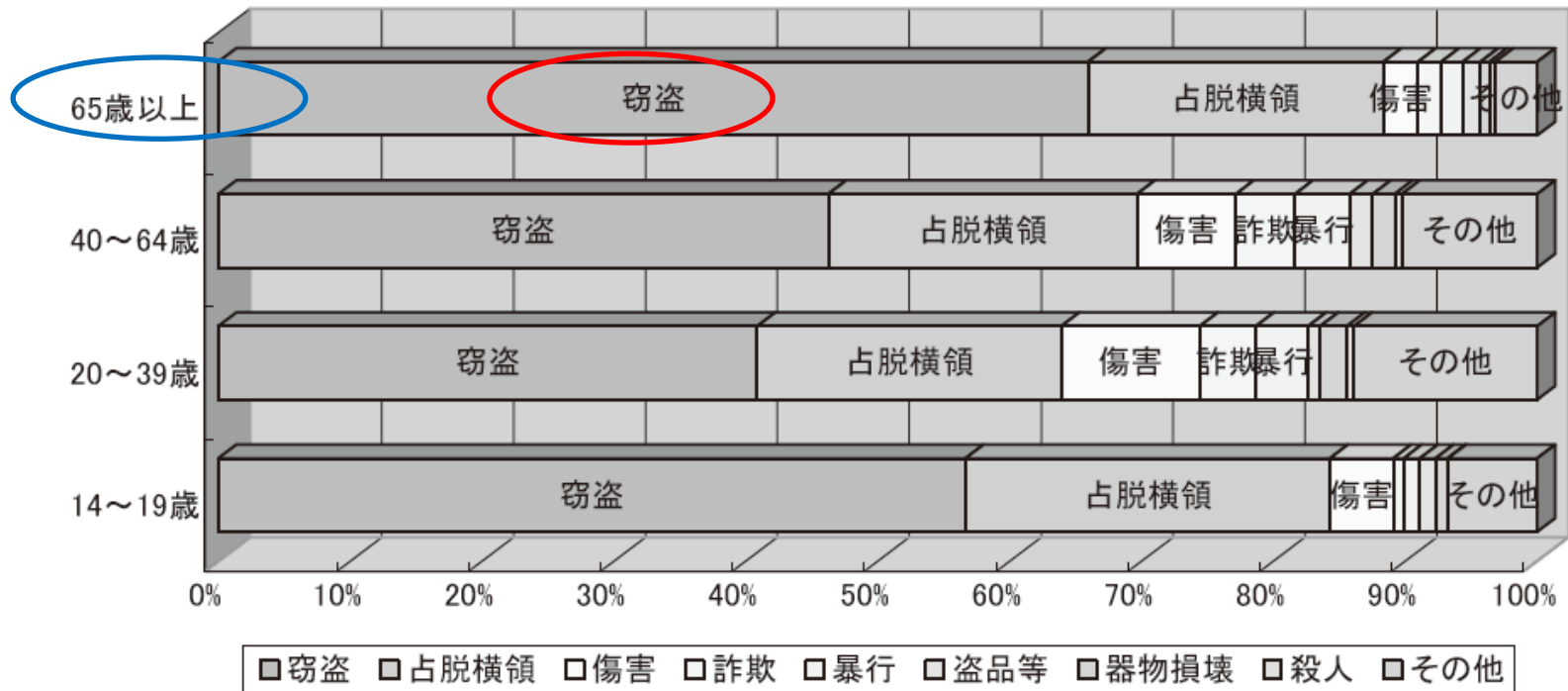


# 高齢者犯罪の特徴

- ・高齢者の一般刑法犯検挙人員の多くを占める窃盗と遺失物等横領の、昭和63年から平成19年までの増加分は、この二つで全体の86.4%を占め、窃盗の多くは万引きである。(平成20年「犯罪白書」)
- ・高齢の窃盗犯は、若いころから犯罪を繰り返す者は相対的に少なく、約半数は高齢(65歳以上)になってはじめて検挙された者であり、準高齢期(60～64歳)になってから初めて検挙された者を含め、犯罪期が高齢期に偏っている。

(警察政策研究センター・太田達也)

# 高齢刑法犯の年齢別罪種構成

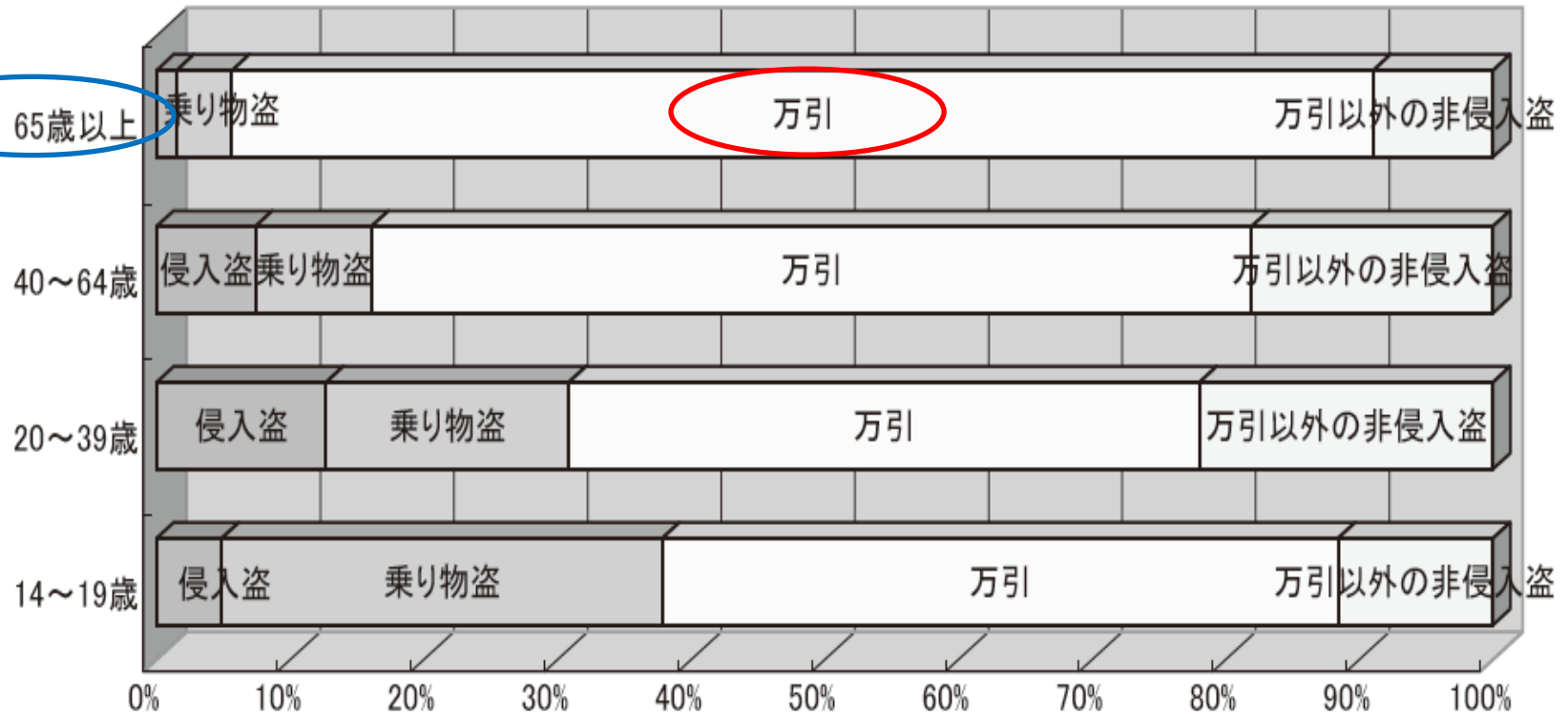


(警察政策研究センター・太田達也)

<参考>

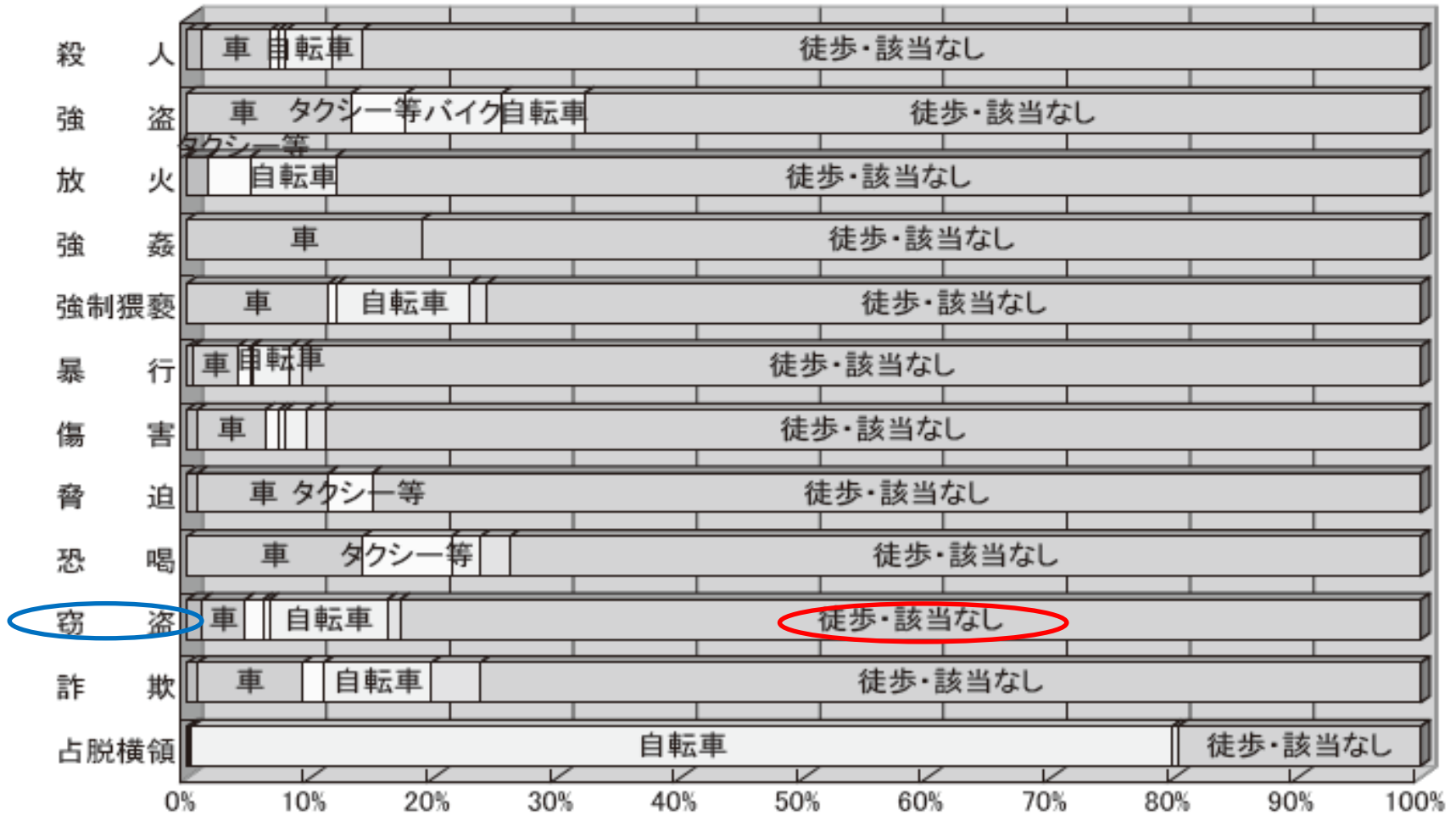
平成16年の刑法犯検挙人員38万9,027名中、検挙時に65歳以上であった3万6,696人を対象  
(以下「高齢刑法犯」)

# 窃盗の年齢別犯行形態



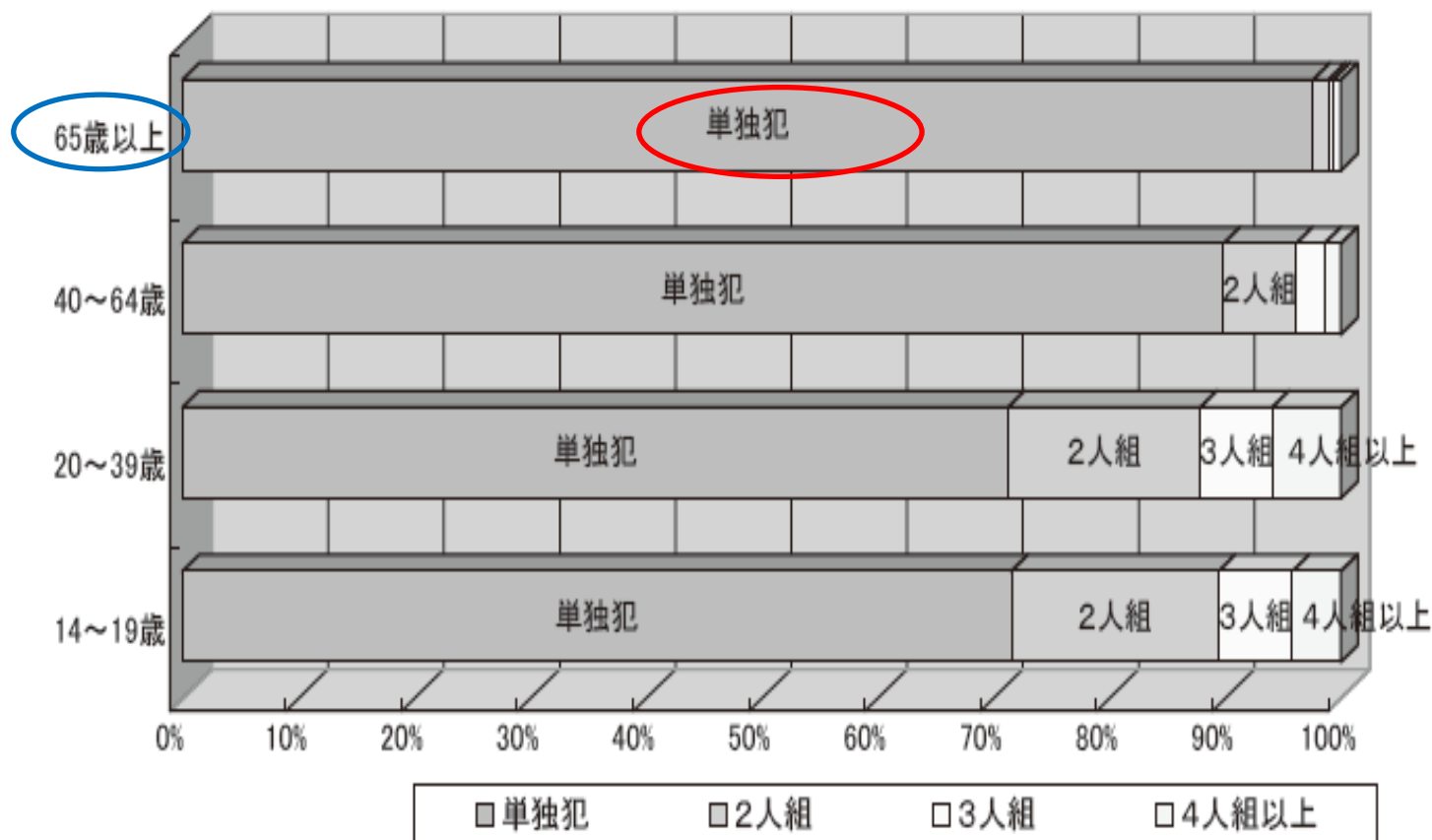
(警察政策研究センター・太田達也)

# 高齢刑法犯の罪種別逃走時の交通手段



(警察政策研究センター・太田達也)

# 高齢刑法犯事件の年齢別共犯形態



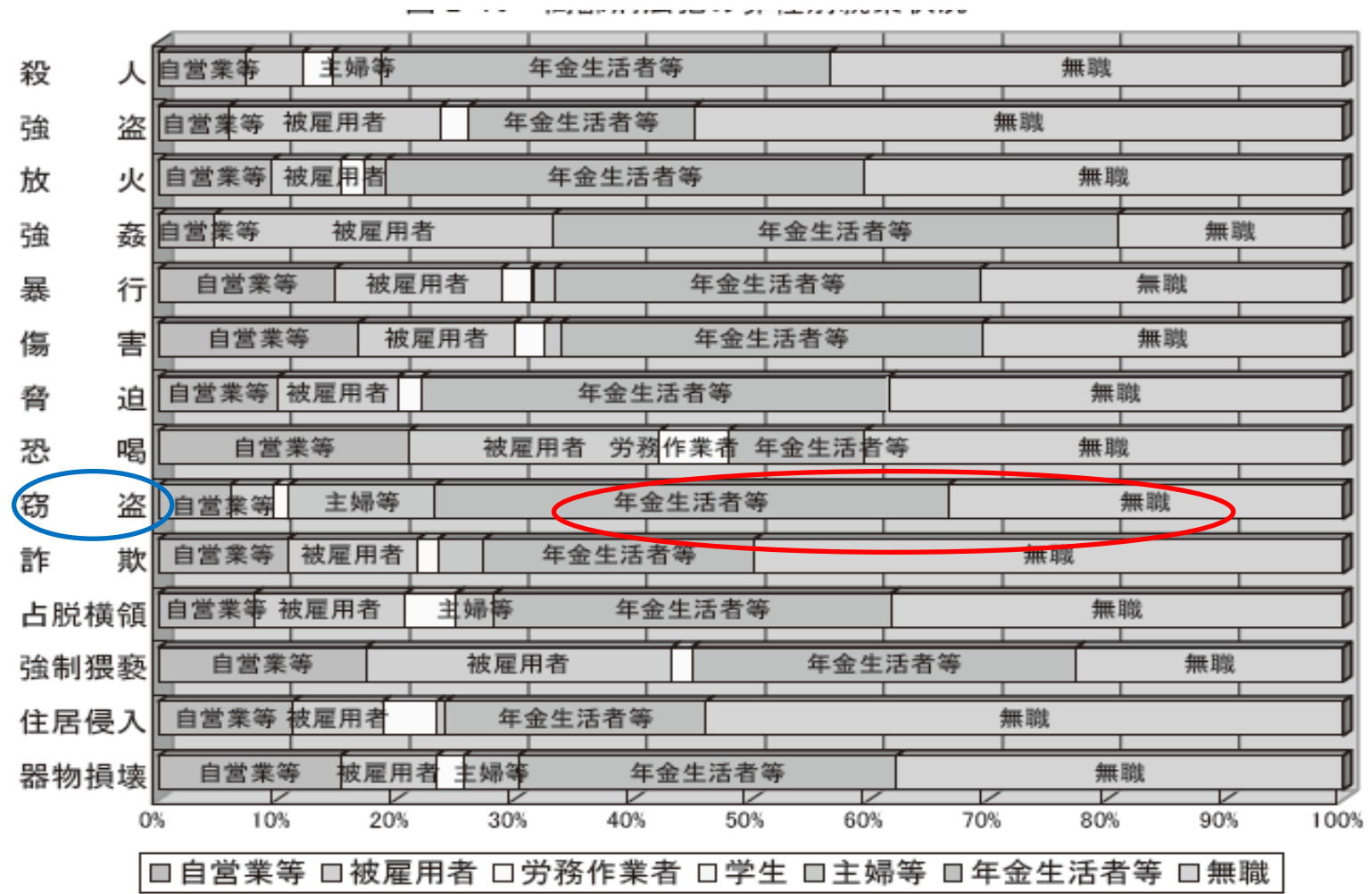
(警察政策研究センター・太田達也)

# 高齢刑法犯の年齢別居住状況



(警察政策研究センター・太田達也)

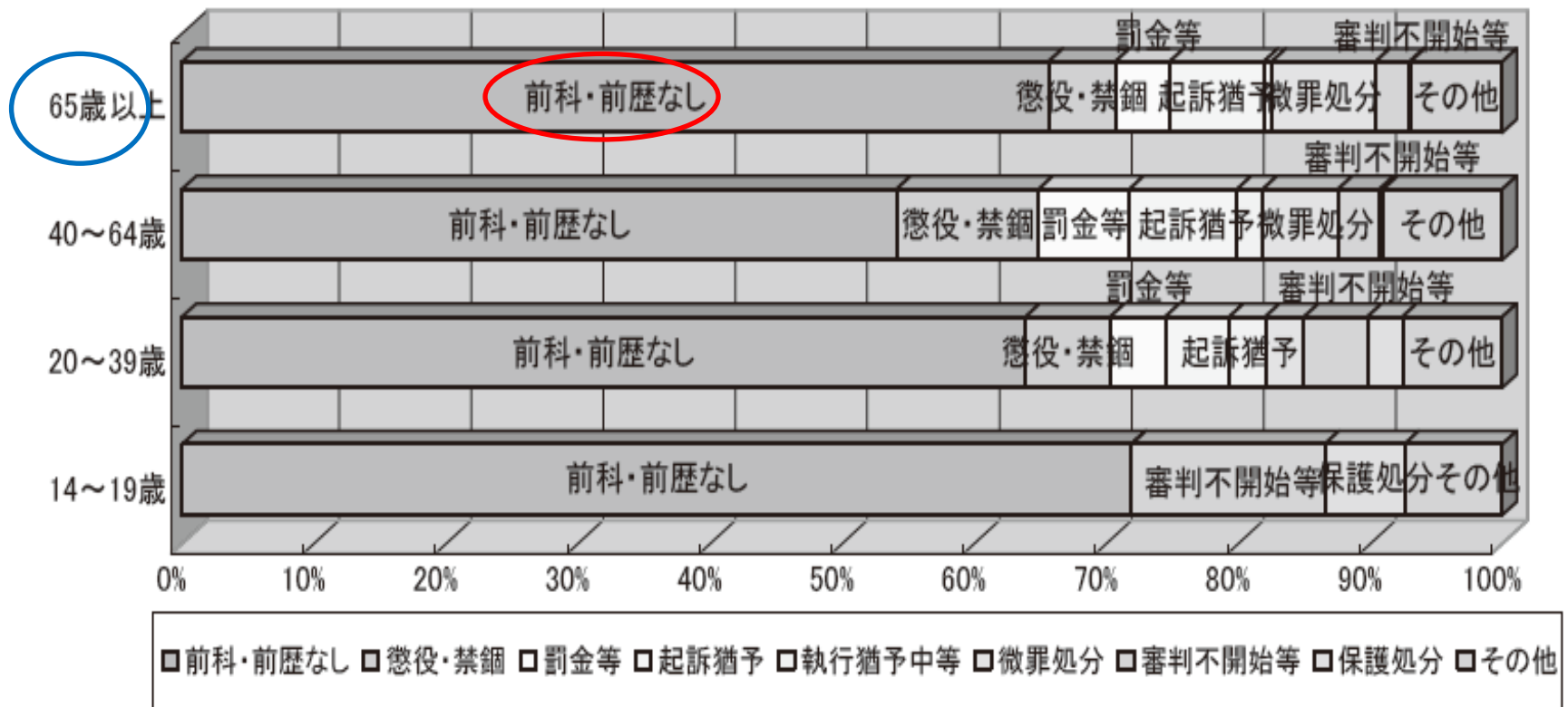
# 高齢刑法犯の罪種別就労状況



(警察政策研究センター・太田達也)

# 高齢刑法犯の前科・前歴

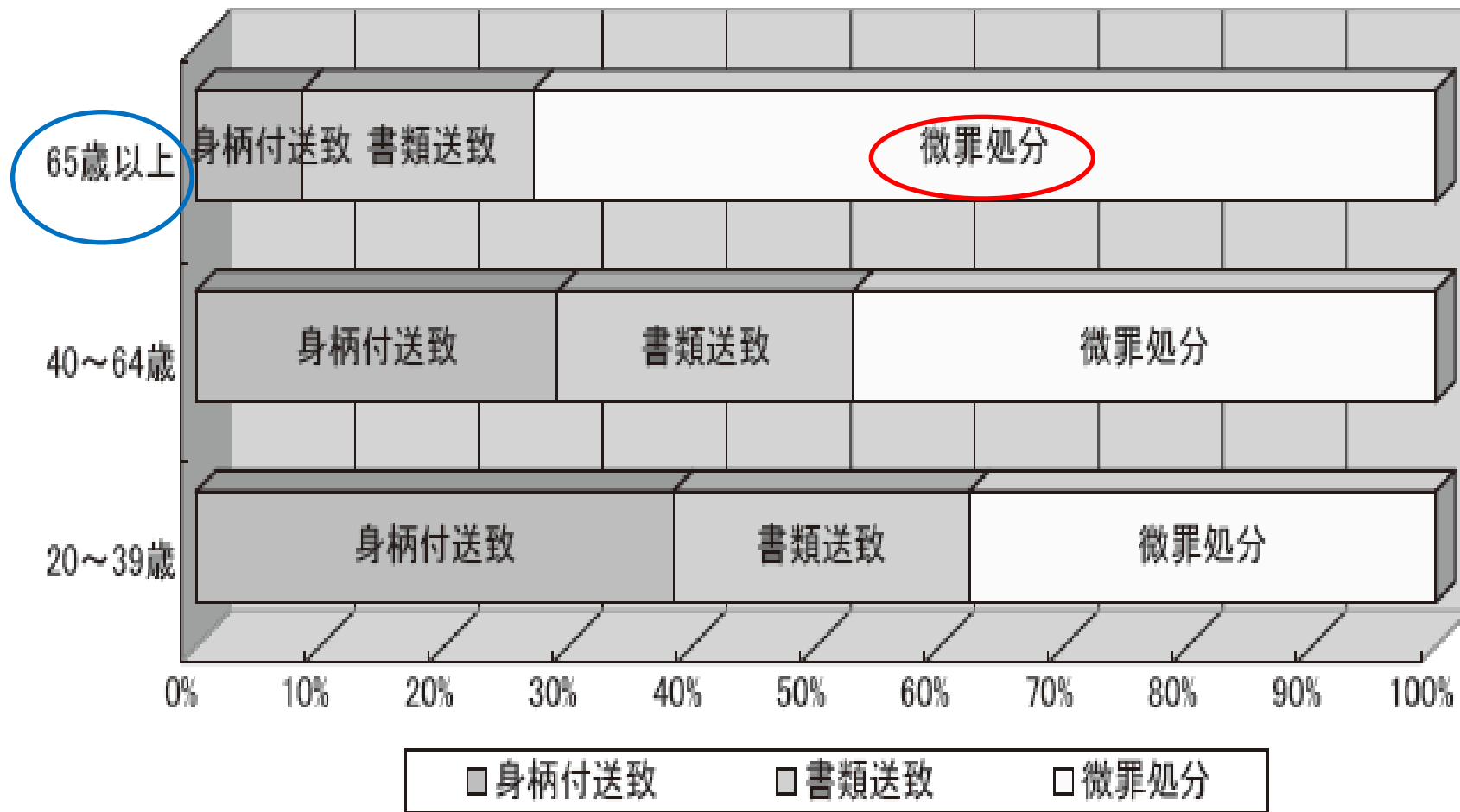
## 刑法犯の年齢別前回処分



(警察政策研究センター・太田達也)



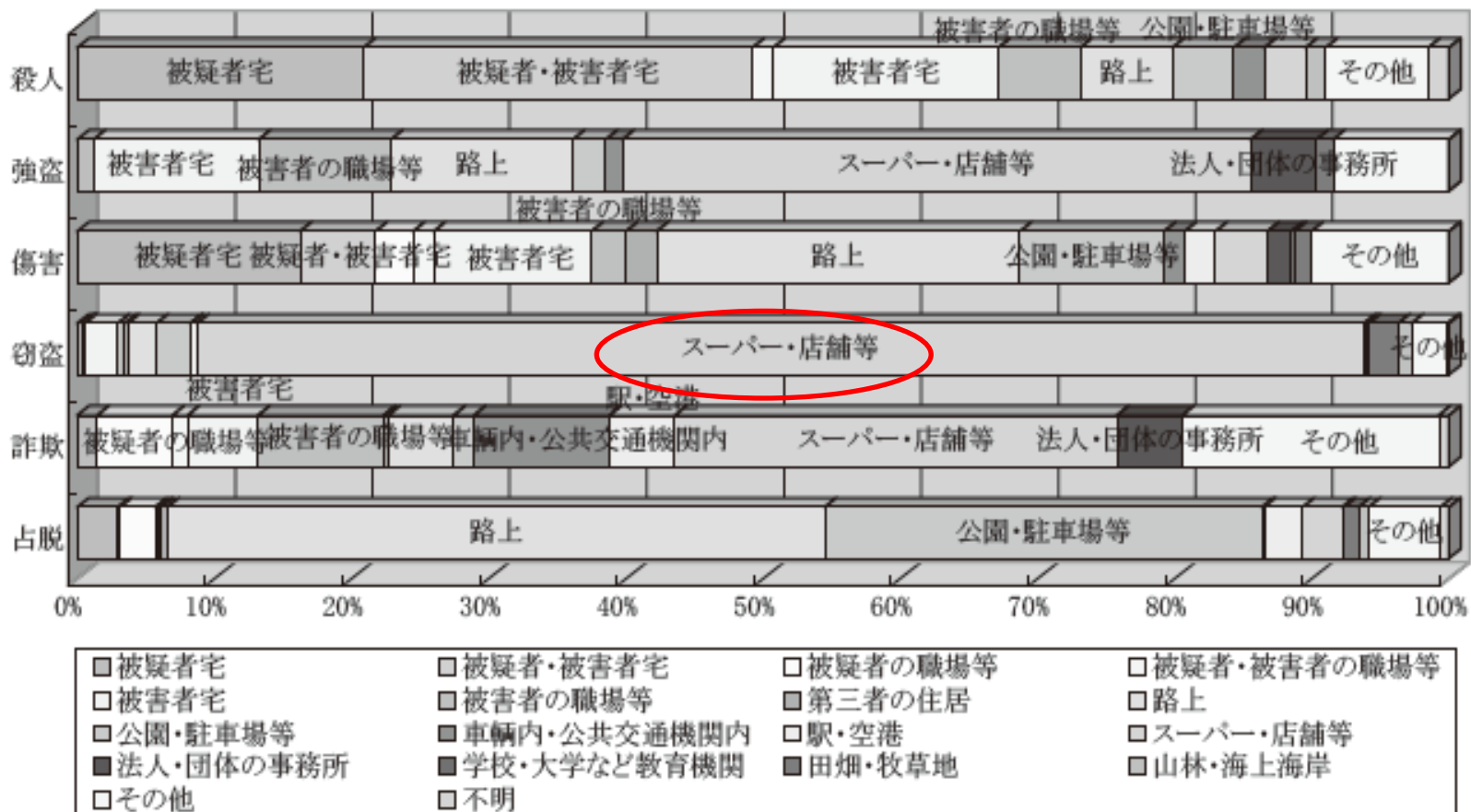
# 刑法犯の年齢層別事件処理



(警察政策研究センター・太田達也)

# 事件の態様(1)

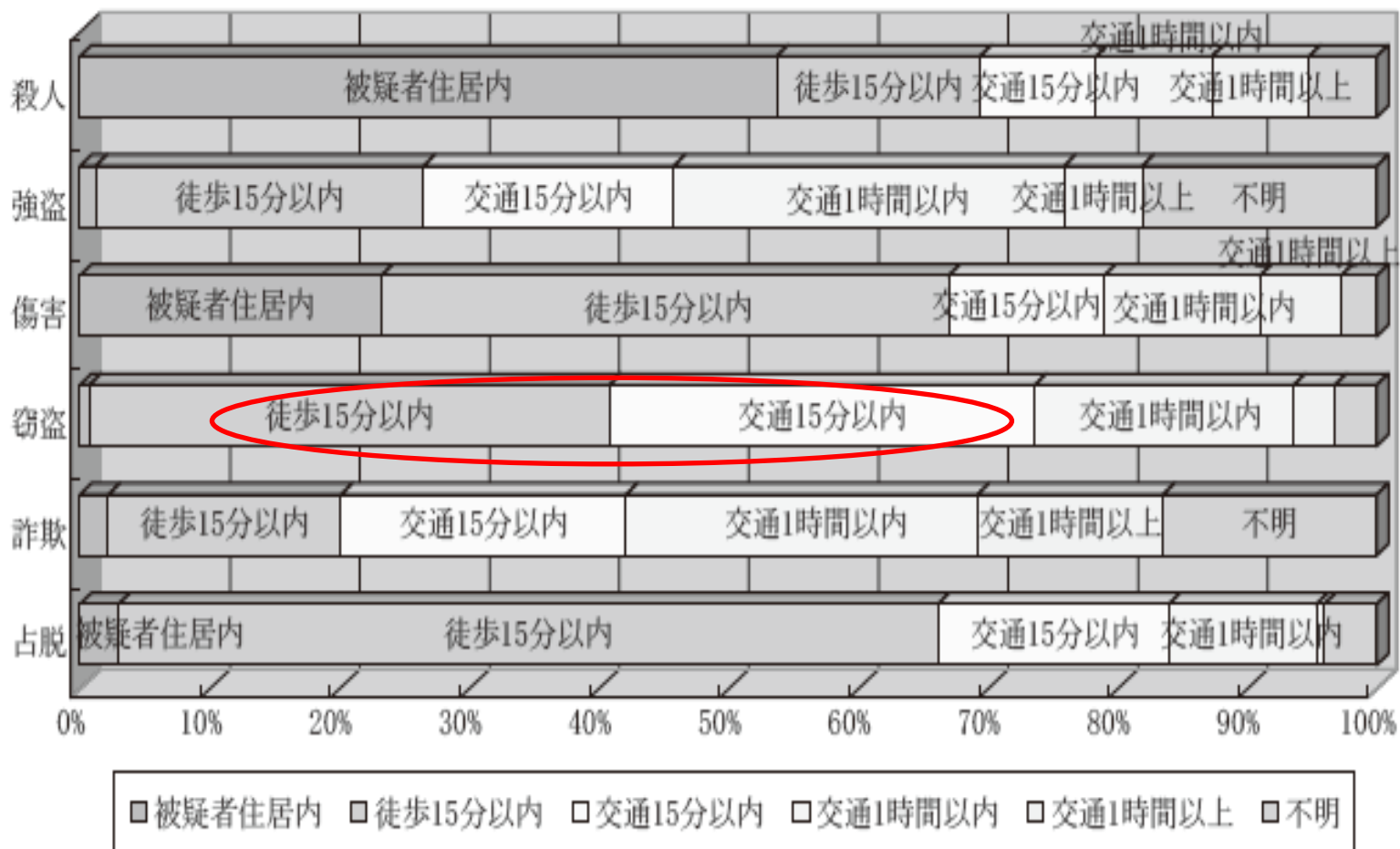
## 主たる犯行場所



(警察政策研究センター・太田達也)

# 犯行の態様(2)

## 被疑者の自宅から犯行場所までの距離



(警察政策研究センター・太田達也)

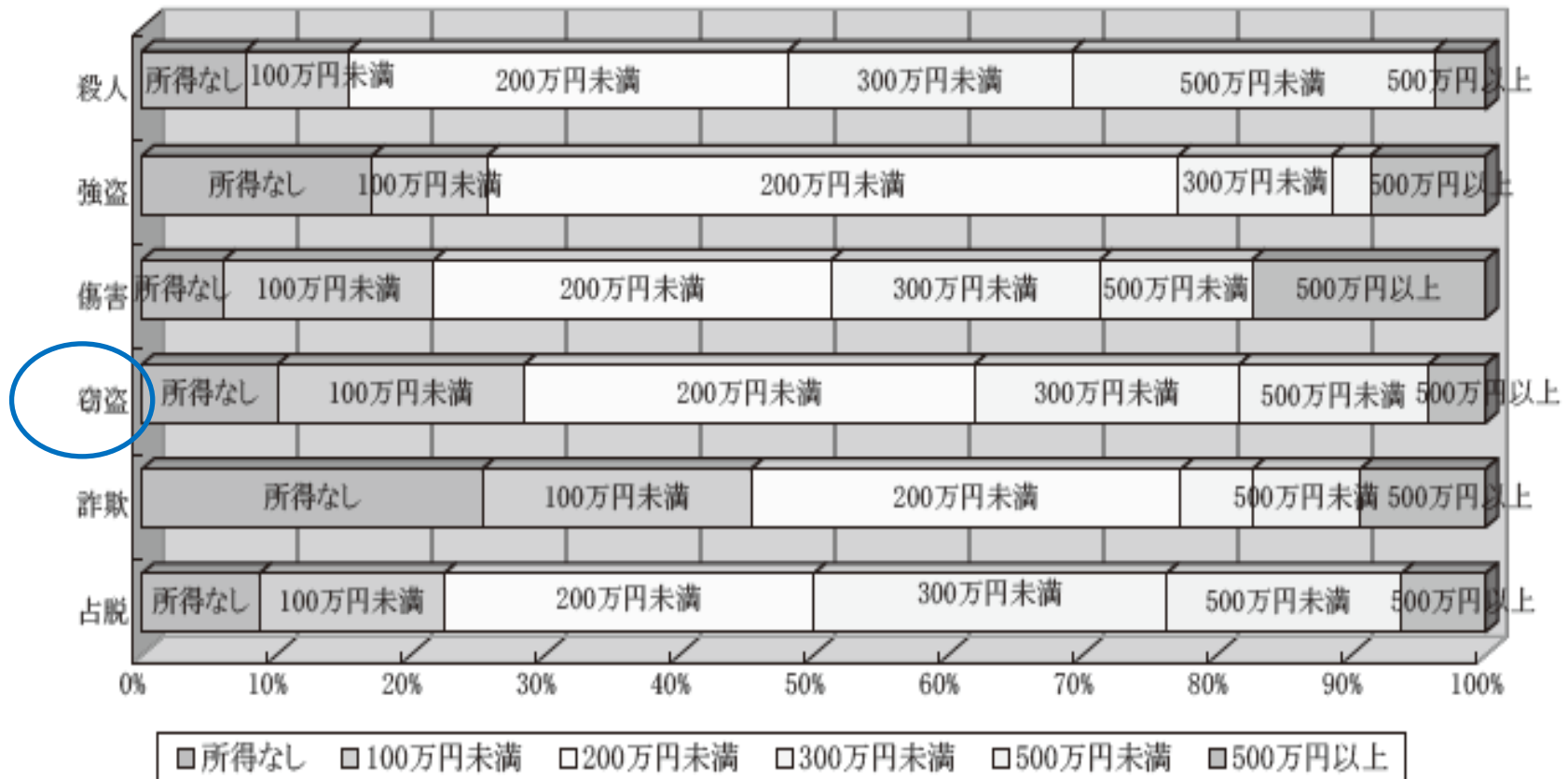
# 経済状況(1) 犯行時の住居



(警察政策研究センター・太田達也)

# 経済状況(2)

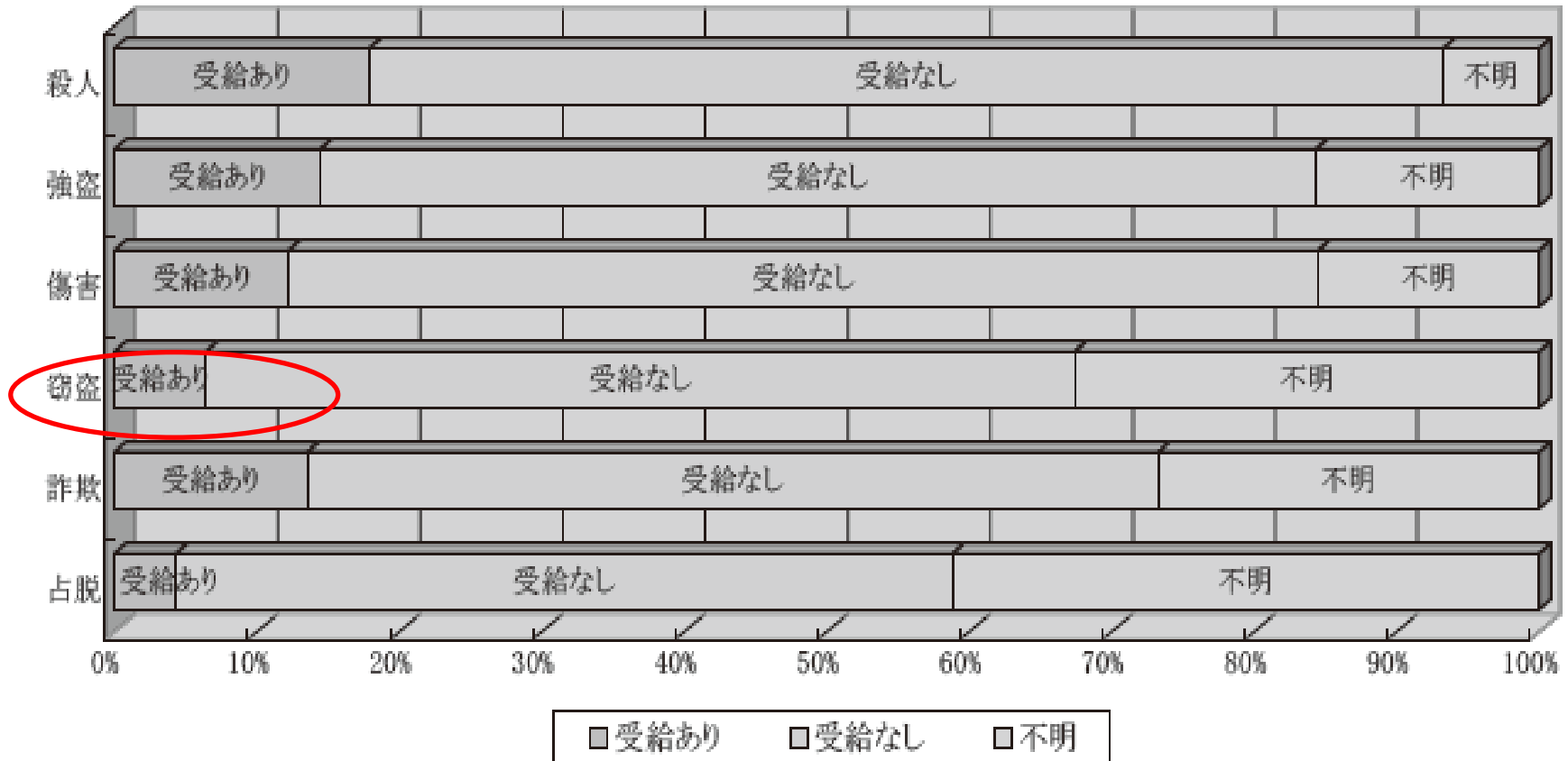
## 年収



(警察政策研究センター・太田達也)

# 経済状況(3)

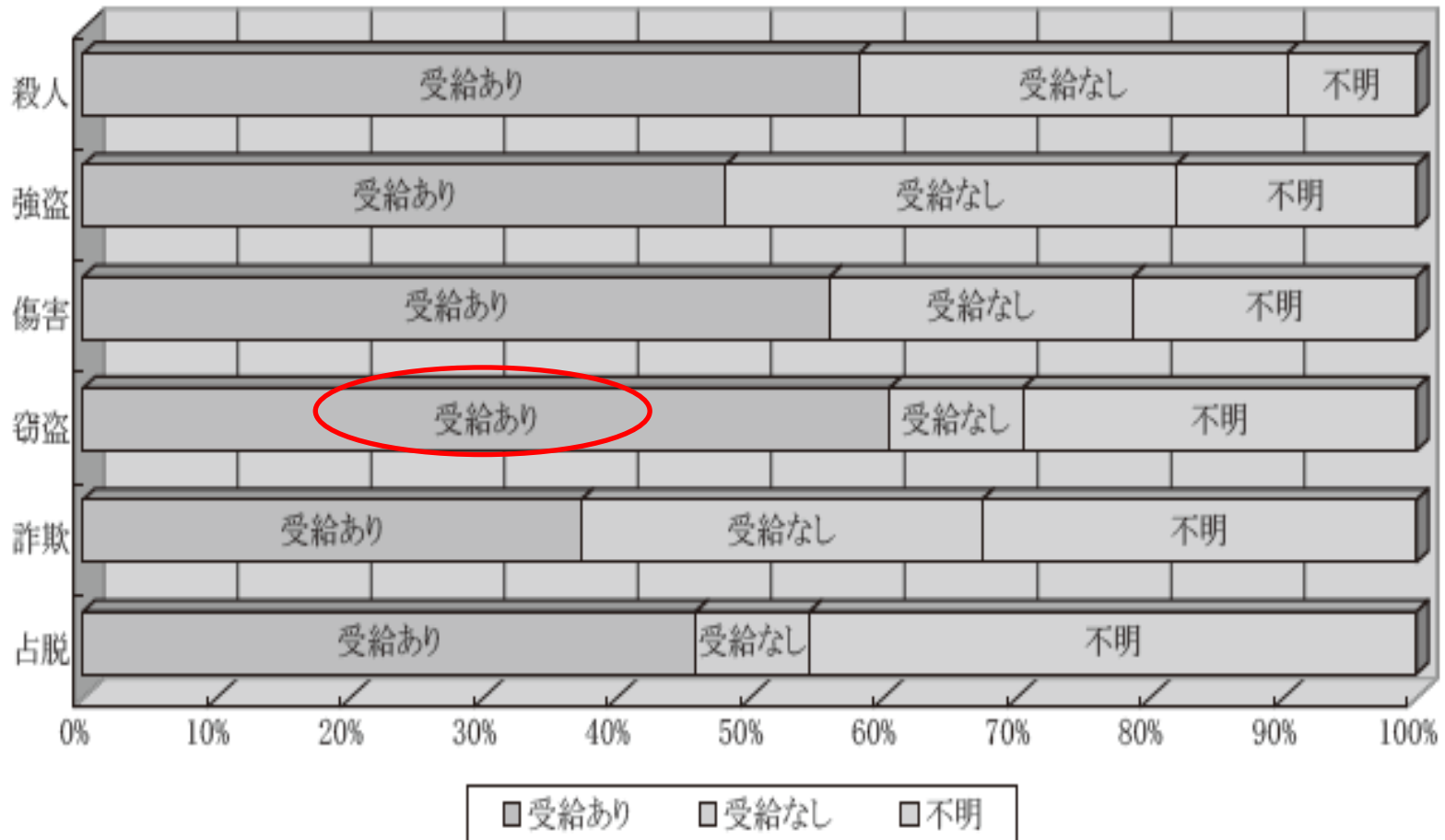
## 生活保護の受給状況



(警察政策研究センター・太田達也)

# 経済状況(4)

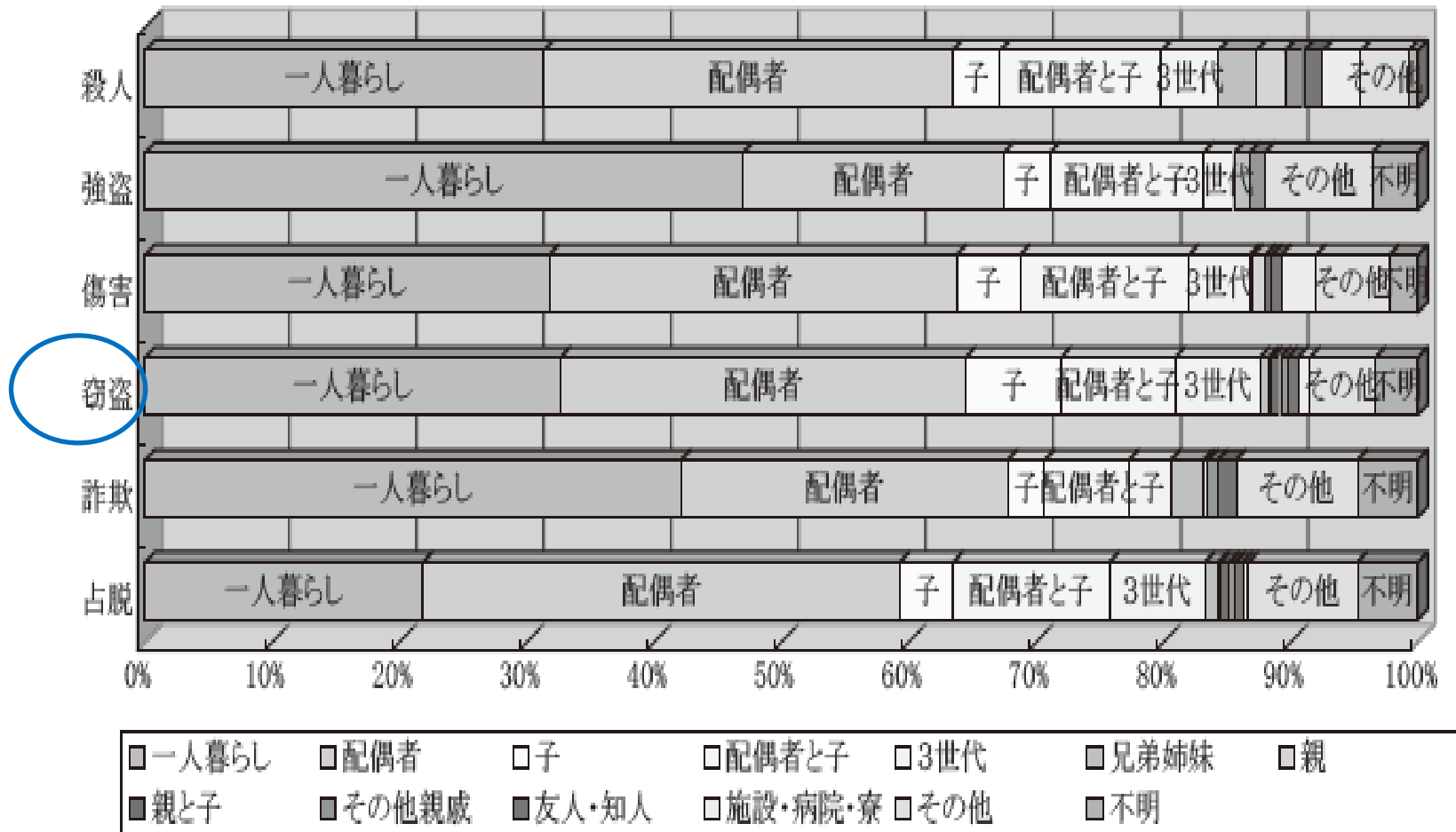
## 年金の受給状況



(警察政策研究センター・太田達也)

# 家族関係(1)

## 同居人

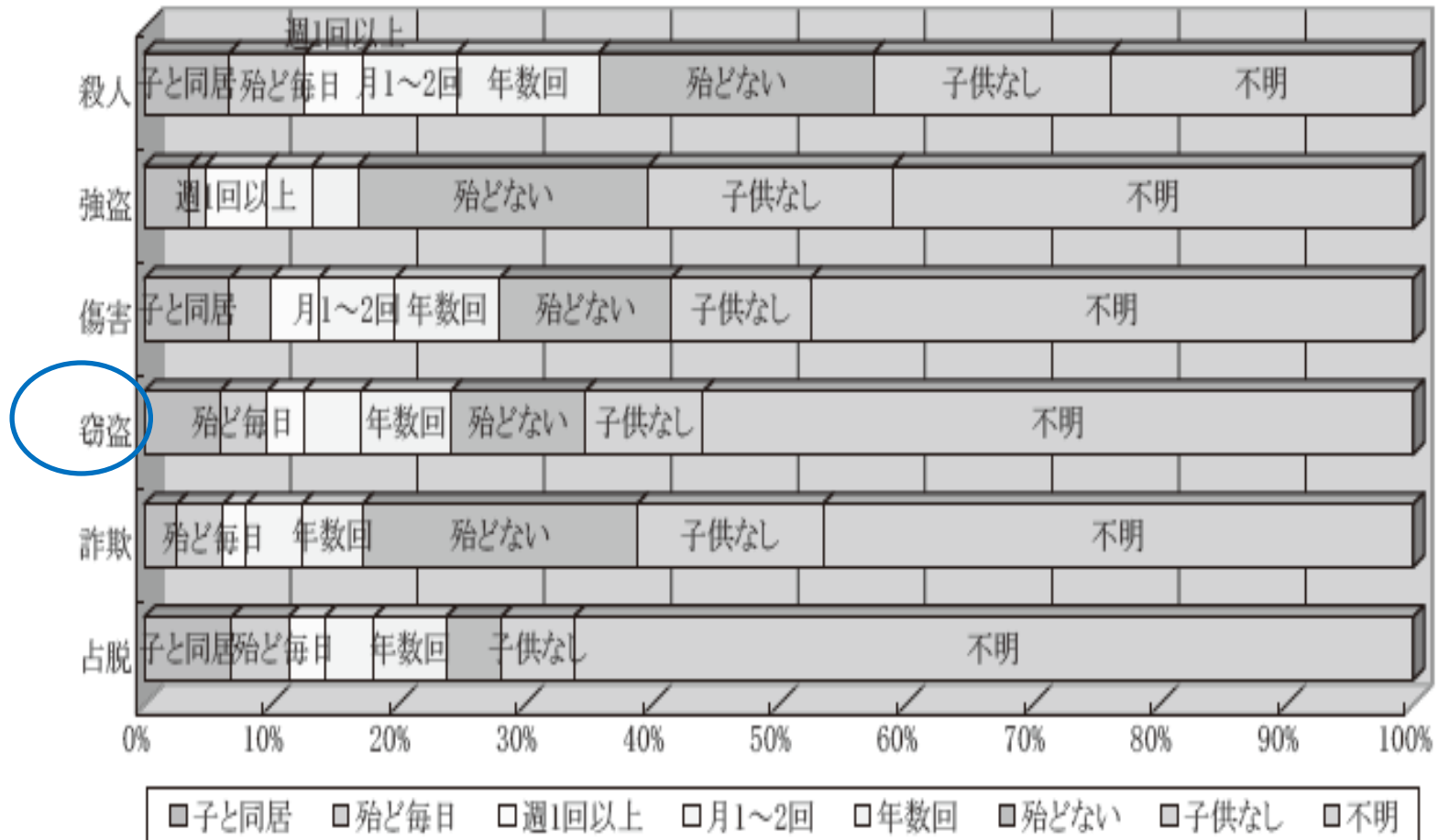


(警察政策研究センター・太田達也)



# 家族関係(2)

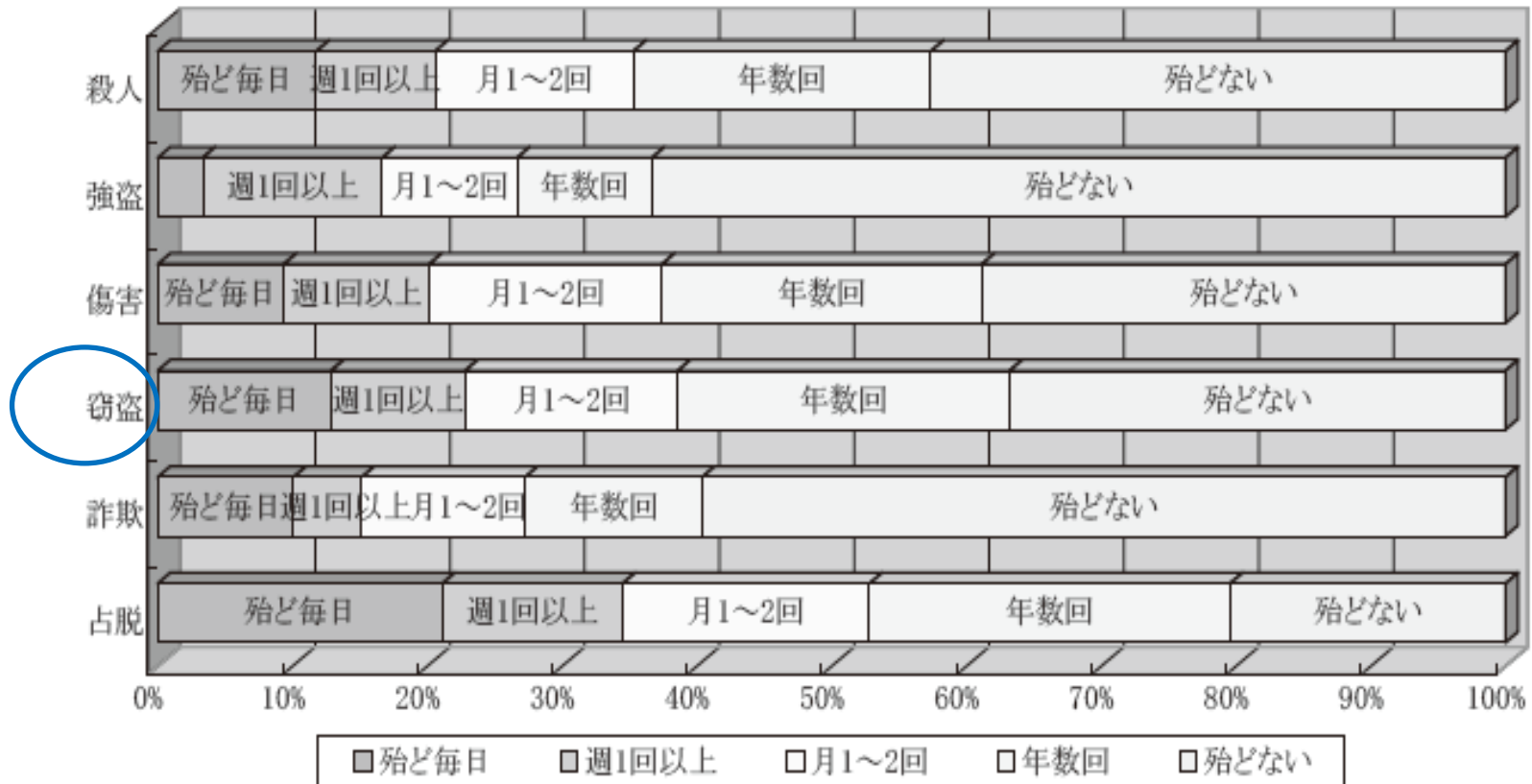
## 子との接触頻度



(警察政策研究センター・太田達也)

# 家族関係(3)

## 別居している子との接触頻度

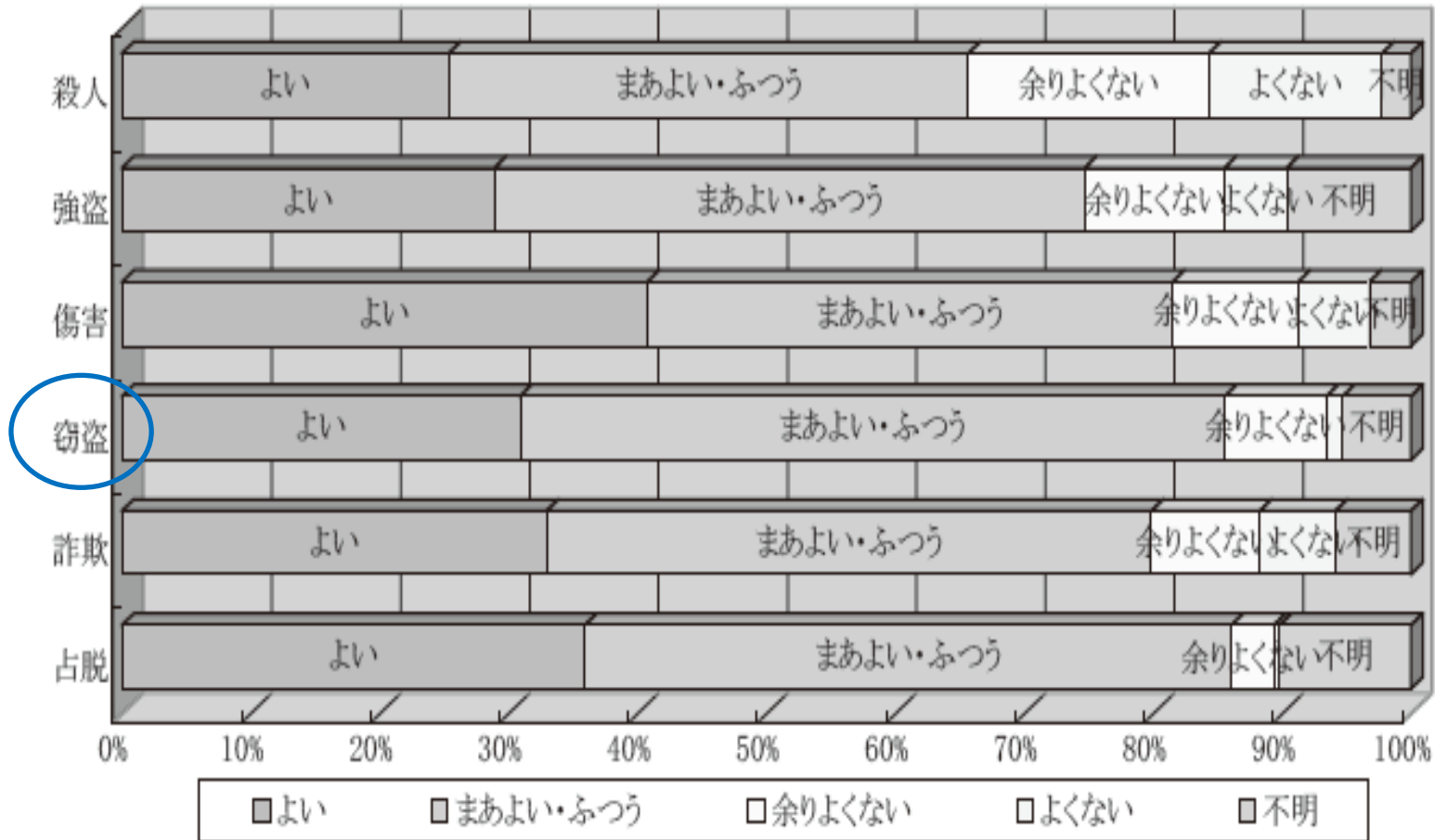


注：子のいない者、子と同居の者、不明を除く。

(警察政策研究センター・太田達也)

# 健康状態(1)

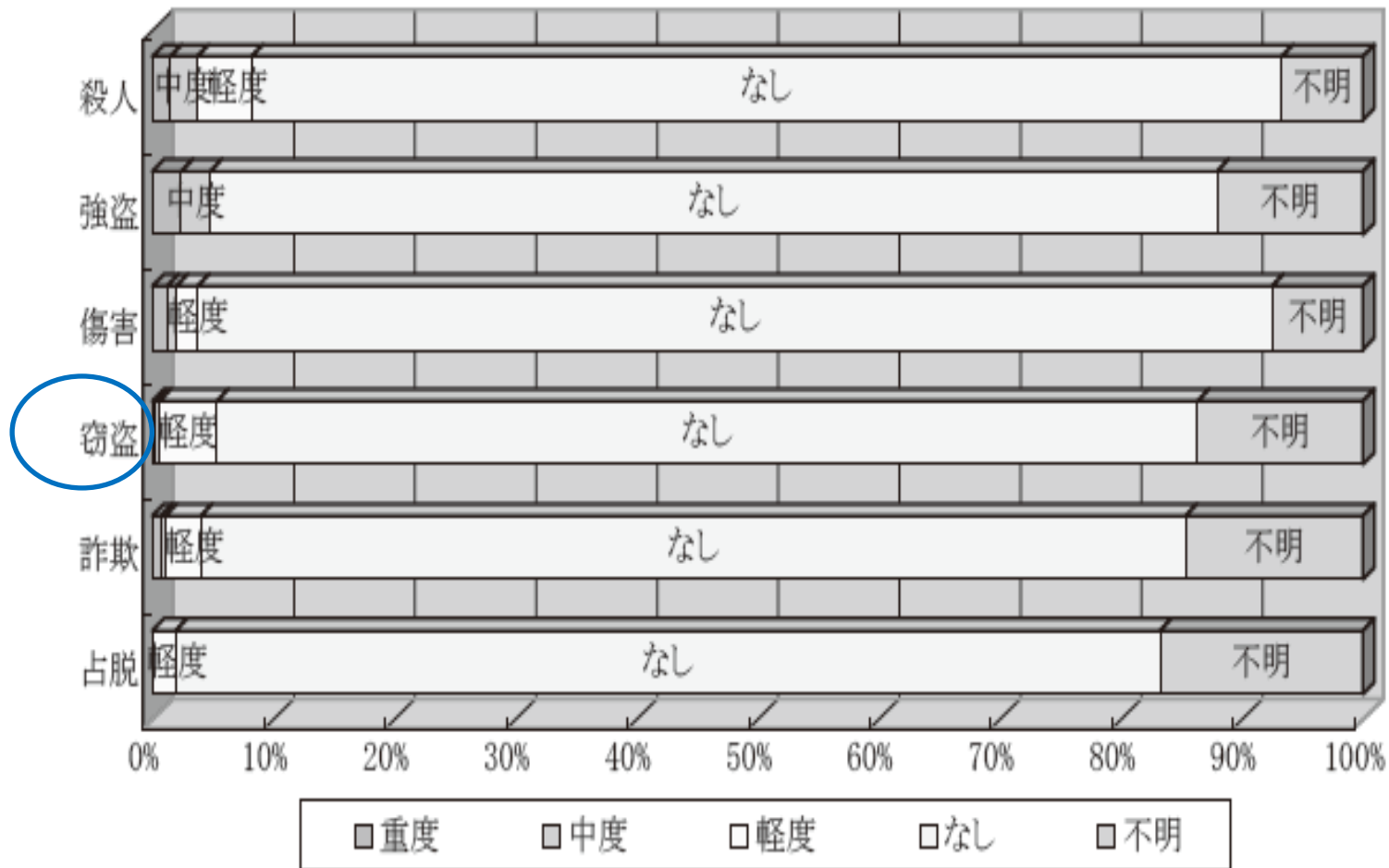
## 犯行時の健康状態



(警察政策研究センター・太田達也)

# 健康状態(2)

## 認知症の程度



(警察政策研究センター・太田達也)

# 参考文献

- ・「高齢者犯罪の特性と犯罪要因に関する調査」(平成25年12月)  
警察庁・警察政策研究センター及び慶應義塾大学・太田達也教授による共同研究
- ・「犯罪白書」(平成20年版及び平成27年版)
- ・「人口推計の結果の概要」(総務省統計局)
- ・「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」(東京都総務局)
- ・「警視庁の統計」(警視庁)
- ・警視庁生活安全部生活安全総務課作成資料